



川崎大師ロータリークラブ 週報

会長 星野 祐治
 副会長 八尋 匡彦
 幹事 奥山 啓寛
 SAA 布川 浩

例会日:毎週水曜日 PM12:30~
 例会場:大本山川崎大師平間寺信徒会館
 事務局:〒210-0812 神奈川県川崎市川崎区東門前1-15-10 カーサ石井1F
 Tel.044-277-7569 Fax.044-288-8550
 URL <http://www.kawasakidaishi-rc.com/> E-mail:daisi-rc.1973@air.ocn.ne.jp

第2368回 (本年度 第6回) 例会 令和5年8月23日 一晴一

●司会 布川 浩 SAA



本日のロータリーソング

「四つのテスト」 斉唱 須山文夫ソングリーダー



●点鐘 星野祐治会長



ゲスト紹介 星野祐治会長

第2590地区ガバナー 樋口 明様
 第2590地区 第1グループガバナー補佐 北條裕明様

ビジターの紹介 横山俊夫親睦委員長

地区奉仕プロジェクト副委員長 (横浜南RC)
 岸 厚子様

寄付金の贈呈 星野祐治会長

樋口ガバナーへロータリー財団特別寄付金、米山記念奨学会への寄付金の贈呈

米山記念奨学会寄付金 100,000円

ロータリー財団寄付金 1,000ドル



会長報告 星野祐治会長

①前回の例会でもお伝えさせて頂きましたが、秋田豪雨災害支援募金、まだまだ支援金が足りない状況です。今週もまわさせていただきますのでよろしければお願いいたします。宜しくお願いします。



②悲しいお知らせです。台北西門ロータリークラブのバスターガバナー、通称デザインさんがご逝去されました。

③ロータリー国際大会2024年 2590地区で申し込みは第1次締め切りが9月29日です。期日が近くなっています。ぜひお考えの方はご登録をお願いします。

幹事報告 八尋匡彦副会長



回覧

- ①米山梅吉記念館秋季例大祭のご案内
- ②第2回研修&フォローアップ委員会の出欠表
- ③会員名簿の原稿 内容が間違いなければ自分の所にOKと記入をお願いします。間違いの部分は朱書きで訂正をお願いします。

掲示物

- ④第21回ロータリー全国囲碁大会のお知らせ
- ⑤企業向けセミナー「企業が有する資源提供で行う子ども食堂支援の仕組みを考える」
- ⑥日台ロータリー親善会議
(10月20日 14時30分受付スタート)

出席報告

町田喜江出席委員長

| | 会員数 | 対象者 | 出席 | 欠席 | 出席率 |
|------------------|-----|-----|----|----|-----------------|
| 2368回 | 44 | 41 | 25 | 16 | 60.97% |
| 2366回 | 44 | 39 | 25 | 14 | 64.10% |
| 前々回の修正 メイクアップ | 2名 | | | | 修正出席率 69.23% |

メイクアップ

林 鶴会員、須山文夫会員



スマイルリポートの報告 八尋匡彦副会長

第2590地区ガバナー 樋口 明殿（神奈川RC）

本日は公式訪問でお世話になります。よろしくお願ひ申し上げます。

川崎大師RCの益々のご発展と会員の皆様方のご健勝を心よりお祈りいたしております。

第2590地区 第1グループガバナー補佐
北條裕明様（川崎南RC）

本日は、「ガバナー公式訪問例会」と引き続き開催の「クラブ協議会」に樋口ガバナーと共に訪問させていただきました。

「クラブ協議会」では、ガバナーを交えて忌憚なく意見交流できることを楽しみにしています。宜しくお願い申し上げます。

横浜南RC 岸 厚子殿

昨年度地区RA委員長として、八尋副会長にお世話になりました。

竹中裕彦会員

①樋口ガバナー、北條ガバナー補佐、酷暑の中公式訪問ありがとうございます。ご指導宜しくお願ひ致します。

②牛山さん、チケットありがとうございます。隣席猪狩さんと血みどろの応援バトルを繰り広げました。

③第1回研修&フォローアップ委員会の残金がありましたので。

八尋匡彦副会長

樋口ガバナー、北條ガバナー補佐、本日はよろしくお願ひ致します。

横浜南ロータリークラブ 岸様本日はお越し下さりありがとうございます。

星野祐治会長

第2590地区樋口 明ガバナー、第1グループガバナー補佐 北條裕明様、本日は川崎大師ロータリークラブ例会にお越し下さり有難うございます。

例会及びクラブ協議会最後まで宜しくお願ひ致します。

本日のニコニコのテーマ

「樋口 明ガバナー、

ようこそ川崎大師ロータリークラブへお越しくださいました。本日は宜しくお願ひ致します。」

横山俊夫会員

清水 暁会員

布川 浩会員

秦 琢二会員

須山文夫会員

岩井茂次会員

平位 武会員

野澤隆幸会員

鈴木昇二会員

松井昭三会員

牛山裕子会員

鈴木幹久会員

猪狩佳亮会員

宮崎真一会員

大谷 茂会員

嶋崎嘉夫会員

石渡勝朗会員

檜山雄彦会員

町田喜江会員

枝村和道会員

委員会報告

●青少年奉仕委員会 須山文夫委員長



9月10日土曜日 アクトの日。全国的にこのような活動を行っています。ローターアクトクラブ主催で行います。当地区はメインプログラムをポッチャ大会の体験会をさせていただくということです。ぜひ、当クラブのポッチャ同好会の皆さんはご参加いただければと思います。9月3日までに出席締め切りがございます。ぜひ事務局までお申し出頂ければと思います。

ローターアクトですが、今期に入り1名増強し3名です。8月6日にフォトウオークという催しをしましたが、2名見学の方が来ました。なんとか集客、増強している状況です。皆様もお顔を出していただければと思います。宜しく申し上げます。

●フォローアップ委員会 竹中裕彦委員長
研修とフォローアップ委員会の案内です。

7月に第1回を行い、8月は来週30日6時から事務局で行います。研修委員会、フォローアップ委員会の合同ですので3年以内の入会の方を中心に全会員の方ご出席お願いします。

2回目のテーマは「クラブ奉仕について」です。



卓話者の紹介

第2590地区 第1グループガバナー補佐 北條裕明様



樋口 明ガバナー

所属：神奈川ロータリークラブ

職業分類：建材販売

略歴：1965年5月10日生 58歳

学習院大学

経済学部卒業後藤田工業株式会社入社

後にご自身の会社 樋口商店に入社され

現在代表取締役に至っております。

ロータリー歴：

1997年7月 神奈川ロータリークラブに入会

2014-15年度 クラブ会長

第4グループガバナー補佐

地区拡大増強委員長

地区研修副委員長

規定審議会副委員長

等々、地区の役職も歴任され、今期ガバナーをお務めでございます。

樋口 明ガバナー 宜しく申し上げます。

卓話 第2590地区ガバナー 樋口 明様



国際ロータリー 2023 - 2024 年度 テーマ
Create Hope in the World

Rotary District 2590 世界に希望を生み出そう

< ビジョン声明 >

「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています。」

ビジョン声明を実現するための二つの要素

| ① 世界にもたらす変化 | ② 自分自身の中での変化 |
|--|---|
| 平和にさらなる主眼を置く ・ ウクライナ支援に代表される人道支援 ・ 平和とは、希望が根付くための土壌 ・ 平和の追求 | メンタルヘルスの取り組み ・ 他人を助けることで、自分自身が助けられます。 ・ 助けを求めるとは、弱さではありません。 |

国際ロータリー 2023 - 2024 年度 テーマ
Create Hope in the World

Rotary District 2590 世界に希望を生み出そう

継続と持続可能な変化

ロータリーは、平和、機会、生きる価値ある未来の土台を築いている。

私たちが得意とすることを継続すると同時に、変化に対してオープンで前向きになり、世界と自分自身の中に平和を築くことに力を注げば、ロータリーはより平和で、より希望のある世界を築く手助けができます。

Rotary District 2590 世界に希望を生み出そう

ガバナー公式訪問

国際ロータリー第2590地区
ガバナー 樋口 明

Rotary District 2590 世界に希望を生み出そう

地区方針の説明の前に

Service = 奉仕？

Service (サービス) の和訳である奉仕は、果たして正しい訳なのか？

奉仕とサービスの違い

【奉仕】

損得を抜きで尽くすこと。見返りを求めない。

↓

利益を求めないので、商売にならない。

継続と持続可能な変化

以前のリーダーたちのよいアイデアを前進させること。

Rotary District 2590 世界に希望を生み出そう

地区方針の説明の前に

奉仕とサービスの違い

【サービス】

Work, duty, assistance, help, support (働き、務め、営み) 等々、奉仕よりもはるかに概念が広い。

人の役に立つこと。貢献すること。提供すること。人のためになる行為全体を指す。

↓

ロータリーでは、
 ・ サービスが利益を生む。
 ・ サービスによって収入を得ることは、合法的かつ道徳的である。

国際ロータリー 2023 - 2024 年度 テーマ
Create Hope in the World

Rotary District 2590 世界に希望を生み出そう

| | |
|---|--|
| ロータリーアクトの地位向上 ロータリークラブとロータリーアクトクラブが互いに協力し、支え合う新しい方法を見つけ続けられるかどうかは、私たちに掛かっている。 | DEI (Diversity Equity Inclusion) 多様性 公平性 インクルージョンの促進 ロータリーを、どこからでも最高の人材、最高のアイデア、最高のパートナーシップを受け入れるオープンでインクルーシブな組織にすること。 |
| 女性のエンパワメント 世界中の少女が強く、十分な能力を身につけた女性へと成長できるように支援することを引き継いでいく。 | ポリオ根絶 ロータリーの最優先事項。寄付目標に疲れるのも無理はない。各年度に何をすべきかではなく、世界の子供を脅かす流行が発生する前に根絶を目指す。ロータリーの夢を現実のものにするには、皆さんの力が必要なのです。 |

Rotary District 2590 世界に希望を生み出そう

地区方針の説明の前に

The Ideal of Service (サービスの理想的な原理)

| | |
|---|----------------------------------|
| 1 | 米山梅吉は、サービス理想と訳し、井坂孝はサービスの概念と訳した。 |
| 2 | 1934年：外国語禁止提案 |
| 3 | 2012年：和訳の見直し |

サービス理想

奉仕の理想

奉仕の理念

地区方針の説明の前に

Rotary District 2590

井坂 孝 東京RC・横浜RC合同家族会でのスピーチ(1933年2月22日)

人間は孤独の生活の出来ない群居の動物であります。群居して居りますから人と人との関係が起こります。人と人との関係が起これば自分の都合ばかりを考えているわけにはまいりません。従って、群居の状態を善くするためには各自が人のために役立つと云うことを考えなければなりません。人の為に役立つと云うことは英語で云う「サーヴィス」であります。「ロータリー」は「サーヴィス」を以て人間活動の根本観念と為さんとする運動であります。此の運動を達成する目的を以て実業人が集って自己の業務を以て「サーヴィス」を為さんとて組織されたる団体が「ロータリー・クラブ」であります。

地区方針の説明の前に

Rotary District 2590

ロータリーにおける「奉仕」の解釈

ロータリー用語としての「奉仕」は、「サーヴィス」の本来の意味である **人の役に立つこと、貢献すること、提供すること、**と解釈すべきである。

国際ロータリー 第2590地区

Rotary District 2590

2023 - 24年度 地区方針

ガバナーテーマ:先達を敬い、未来を見据えて行動しましょう!



国際ロータリー 第2590地区 ガバナー 樋口明 (神奈川 RC)

先達を敬い、土台を固めましょう!

Rotary District 2590

ロータリーの先達が創り上げた土台についての理解を深めましょう。

- The Object of Rotary (ロータリーの目的)
- Motto of Rotary International(国際ロータリーの公式標語) Service Above Self (超我の奉仕) One Profits Most Who Serves Best (最もよく奉仕する者、最も多く頼られる)
- THE FOUR-WAY TEST (四つのテスト)
- Core Values (中核的価値観) Fellowship (親睦)、Integrity (高潔性)、Diversity (多様性)、Service (奉仕)、Leadership (リーダーシップ)
- Resolution 23-34 (決議23-34)
- ガイ・ガンディカーのロータリー観 等

未来を見据えて、行動しましょう!

Rotary District 2590

<ビジョン声明>
「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています。」

ビジョン声明を実現するための行動計画

| | | | |
|--------|-----------------|--------|----------------|
| 優先事項 ① | より大きなインパクトをもたらす | 優先事項 ③ | 参加者の積極的なかわりを促す |
| 優先事項 ② | 参加者の基盤を広げる | 優先事項 ④ | 適応力を高める |

4つの優先事項を念頭に置いて、各クラブで行動計画を立ててください。

「行動する」にあたっての心構え、基盤

Rotary District 2590

| | |
|--|--|
| <p>DEI (Diversity Equity Inclusion) 多様性 公平性 インクルージョンの促進</p> <p>DEIが浸透しているか常に確認し、徹底してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 多様性: 全てに門戸を開放する 公平性: 誰もが公平で大切にされる インクルージョン: 多様性を受け入れ、互いに認め合い、音が活躍できる <p>オンライン目安箱の開設</p> <ol style="list-style-type: none"> 皆様のロータリーでのストーリー(感動、感謝、要望、不平、不満等)をお寄せ下さい。 投稿をもとにオンラインにてオープンディスカッションを開催します。 | <p>メンタルヘルスについての理解を深める</p> <p>ロータリーは知人の集まりではなく友人の集まりです。</p> <p>居心地の良い場所であると同時に、助けを求められる場所であるべきです。そして、ロータリーに入ってよかったと実感していたきたいと思っております。</p> <p>同好会の開設</p> <p>クラブの垣根を越えて、仲間をたくさん作ってください!</p> |
|--|--|

国際ロータリー第2590地区 ガバナーテーマ 先達を敬い、未来を見据えて行動しましょう!

Rotary District 2590

【地区ビジョン】

「多様性を重んじた魅力ある独自のクラブ」

【地区数値目標】

① 会員数 (ロータリアン・ローターアクト)

2,000 名

国際ロータリー第2590地区 ガバナーテーマ 先達を敬い、未来を見据えて行動しましょう!

Rotary District 2590

② ロータリー財団寄付

世界で良いことをしよう!

- 年次基金寄付
 - 150ドル以上
- 恒久基金寄付 (ベネファクター1名相当の寄付額は1,000ドル)
 - 30名未満のクラブは2022-24年度の間で1名(1,000ドル)以上
 - 30名以上50名未満のクラブは1名(1,000ドル)以上
 - 50名以上のクラブは2名(2,000ドル)以上
- ポリオプラス基金
 - 30ドル以上
- ポール・ハリス・ソサイエティ
 - 60名以上

③ 米山記念奨学事業寄付

米山奨学生・学友の育成、支援のために!

- 普通寄付
 - 5,000円以上
- 特別寄付
 - 20,000円以上

国際ロータリー第2590地区 ガバナーテーマ 先達を敬い、未来を見据えて行動しましょう!

Rotary District 2590

【地区行動目標】

- My Rotaryの登録
 - 全会員の登録を目指します。
 - もはや便利なツールの域を超え、ロータリー活動に必須のプラットフォームです。
- ロータリー賞への挑戦
 - 全クラブ、全ローターアクトクラブ、全インターアクトクラブで取り組みましょう。
- 世界ポリオデーに因んだイベントを開催
 - 10月22日(日) ロータリーファミリーも参加しイベントを開催します。
 - 10月24日(火) ポリオ根絶チャリティゴルフ大会(磯子カンツリークラブ)を開催します。
- ロータリーファミリーとの絆を深める
 - ロータリーファミリーとは、青少年奉仕部門、米山奨学生、ロータリー財団奨学生等、ロータリープログラムのメンバー並びに卒業生である学友等を表しています。我々は、次世代の若者が将来リーダーになるための機会を作り、成長させる責務があります。百聞は一見に如かずです。まずは、イベントに参加してみませんか。

国際ロータリー第2590地区 ガバナーテーマ 先達を敬い、未来を見据えて行動しましょう!

Rotary District 2590

【地区行動目標】

- ウクライナ支援の継続等、人道支援
 - ニーズに応じた迅速な支援を行います。
 - 状況に対応して、柔軟に他団体とのパートナーシップを進めていきます。
- RI (ロータリー・リーダーシップ研究会)
 - 特に会長、会長エレクト、新会員はご参加ください。
- 新会員を対象とした合宿研修会
 - ロータリーを学び、仲間をたくさん作ってください。
- レディースデーの開催
 - 3月8日(金) 国際女性デーに因んだイベントを開催します。
- 米山記念奨学生の大学訪問 (各世話クラブにて)
 - 米山奨学生がガイドとなって、キャンパスツアーをやってみませんか。
- ロータリー希望の風葉奨学への支援を継続
 - 東日本大震災により災害遺児となった青少年への教育支援の輪を広げましょう。
- 関東大震災から100年
 - 各クラブで防災、減災を意識した活動を企画してみませんか。

卓話のお礼 星野祐治会長

樋口ガバナー本当に本日は公式訪問、この暑い中川崎大師ロータリークラブにきていただき、誠に有り難うございました。そしてそういうネクタイの意味とか、ポリオの件など、私どもも常々日本にポリオがないのになぜなのかな、という思いもしていたので、1985年世界の子もたちとの約束など、とても深い意味合いがあったのも勉強の一つでなかったかな、ということもありますし、地区と私どもというのは、こういう機会がないと地区の方針など、なかなか聞く機会もございませんし、今日いろいろ教えて頂いたものを糧として、勉強の材料として、地区、私ども川崎大師RCとして手をつなぎながら一歩一歩進んでまいりたいと思っています。本日はありがとうございました。



閉会宣言並びに点鐘 星野祐治会長

日時：2023年9月6日(水)は
通常例会です。

◇「ロータリーの友」精読



檜山 雄彦／八尋 匡彦／竹中 裕彦／大崎 克之

第3回 クラブ協議会

議長 星野祐治会長



「本年度活動計画報告」

◎幹事計画 奥山啓寛幹事（代読 八尋匡彦副会長）P33

◎会計計画 秦 琢二会員 P33

◎会場監督計画 布川 浩会員 P33

◎クラブ管理運営委員会計画
・規定委員会計画 猪狩佳亮会員 P37

◎社会奉仕委員会計画 猪狩佳亮会員 P38

◎クラブ管理運営委員会計画
・クラブ会報委員会計画 檜山雄彦会員 P37
・出席委員会計画 町田喜江会員 P35

◎親睦活動委員会計画
・年忘れ家族会・創立記念例会委員会計画
岩井茂次会員 P35

樋口 明ガバナー：

皆様、発表いただきありがとうございました。

S. A. Aの布川さん。私何度も貴クラブによらせて頂いておりますがS. A. Aの方ははじめは食事もとれないで、見守っていただいていた途から時間も短くて。ここに書かれているような気品と風紀を守ることが徹底されております。ピリピリとした雰囲気ではなく、本当に和やかな雰囲気、和気藹々とした雰囲気もあり、これは代々S. A. Aに受け継がれてきた伝統なのではないかと思っております。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

猪狩委員長、規定委員会と社会奉仕ですね。

規定委員会に関しては例会前の意見交換の時も会長、副会長と話をさせていただきましたが、クラブ定款はいじることができないのですが、クラブ細則は、規定審議会在が3年に1度あり、直近では2022年にありましたが、標準クラブ定款はクラブではいじれない。

細則（自前のものは）は川崎大師ロータリークラブさんも推奨ではなくしっかりした細則があることをお聞きしました。規定審議会在に合わせてプラス時代の流れなどに合わせて細則も変更されているということをお聞きしました。

できれば活動計画に細則もお載せいただけると大変わかりやすいのではないかなという印象を持ちました。ありがとうございます。

社会奉仕委員会です。本当に素晴らしい活動をされていると思います。地域に根差した活動、まさにそうだと思います。

ポッチャ大会、子ども食堂への支援のみならず、この大師地区の6つの小学校に自転車を寄贈するというので、しっかりとPTA等々と通じて、ニーズをくみ取って必要とされる支援を的確にしているということが、よくわかります。

本当にうれしいのが地区補助金をしっかりと使われているという点です。皆様方に寄付をお願いするばかりでそれを活用していただく場が、地区補助金、もう少し規模が大きくなりますとグローバル補助金になりますが、ぜひ活用いただきたいなど。

地区補助金も継続しての支援が出来ないとか縛りはあり、皆様にご案内をする補助金の関係で1月末にご案内をして、2月末に締め切り、実施するのが年をまたいでという制度上の問題があり、タイミングも非常に悪いタイミングでのご案内になってしまっているのですが、次年度、次々年度にむけて計画を立てて頂き、ぜひ地区補助金、3000ドル満額で支給されます。規模によってはそれでも少ないですが、今は円安ですので42万とか40何万円満額で支援されますので、是非引き続きご利用いただきたいと思います。

今、猪狩委員長から発表がありませんでしたが、八尋さんが今度近隣の学校で金融教育をされるということで、それも素晴らしいことだと思います。よろしくお願いします。

檜山会報委員長、会報が送られてきたものをすべて拝読させていただきました。写真が多くて見やすいですね。会報はものすごく重要なものだと思っております。記録としてずっと残るものです。役割と欠席している会員に対しての情報源にもなります。ビジターに対してもしっかりとした会報を読めば、川崎大師クラブはこういうクラブなのだというのが本当に伝わってくる、温かみのある会報だと思いますので、ぜひ引き続きどうぞよろしくお願いします。

岩井委員長ですね。これは書かれている通りですね。親

睦活動は全員参加、おっしゃる通りだと思います。皆さんと一緒に、ご家族も参加していただき楽しんでいただければと思います。

ご家族で参加していただくというのはものすごく意味のあることで、ロータリアンのご主人が多いかと思いますが、しっかりとロータリー活動をしているのだなということをご所で見ていただく、知っていただくこととなりますので、是非ご家族の皆さん参加していただき、51周年2月21日盛り上げて頂ければと思います。よろしくお願い致します。

活動計画を見た印象はクラブリーダーシッププランに則って組織がされているのですがこれは最近されたのですか？素晴らしいと思いました。

星野祐治会長：先達の通りに習っているものです。

樋口 明ガバナー：

そうですね。国際ロータリーが推奨しているクラブ、リーダーシップに則った組織編制のみならず、会員数が多いクラブさんですので、きめ細やかな委員会があり、クラブの会員側にたった素晴らしいサービスをされているなという印象をもちました。

引き続きお願いします。ありがとうございます。

◎クラブ管理運営委員会計画

- ・会員増強委員会計画 大谷茂会員 P36
- ・会員選考委員会計画 鈴木幹久会員 P36
- ・職業分類委員会計画 炭谷博功会員
(代読 牛山裕子会員) P36

◎親睦活動委員会計画

- ・エイジングプログラム委員会計画
牛山裕子会員 P34

◎クラブ管理運営委員会計画

- ・クラブ研修委員会計画 牛山裕子会員 P36
- ・プログラム委員会計画 平位武会員 P37
- ・雑誌広報委員会計画 宮崎眞一会員 P37
- ・クラブ管理運営委員会計画 八尋匡彦副会長 P34

樋口 明ガバナー：

皆様、発表頂きありがとうございます。

会員増強委員会の大谷委員長、ありがとうございます。地元、この大師の方をターゲット、重視していこうという明確な方針をお聞きしました。会長方針に則って大谷委員長、計画をされていると思います。ありがとうございます。

例会の時に竹中さんのフォローアップ委員会、会員維持についてですが、入会歴の浅い方が退会する確率は比率が高いということで、またコロナ禍が3年間ありましたのでいろいろかわることがなかったということで

いろなクラブでは新会員のフォローが出来なくて退会してしまっただけという報告もあります。

しっかりと会員増強委員会とフォローアップ委員会が連絡を取り合って、連携して新会員の皆様方のフォローしていることが会員数につながっているのではないかなど発表を聞きながら思いました。

引き続きどうぞよろしく申し上げます。ありがとうございます。

鈴木幹久会員選考委員長、ありがとうございます。鈴木委員長がおっしゃられた通りに入会前にしっかりと確認しておくこと。

例会出席への理解、財政的な負担と義務への理解、奉仕活動への理解、ロータリーの友の購読への理解を入れてから話をするのではなく入会前に会員候補者の皆様方には話をされるということ聞き素晴らしいなと思いました。引き続きご指導いただきますようよろしくお願いいたします。

牛山さんには3委員会について発表していただきました。職業分類委員会、炭谷委員長の代理ですが、ここに書かれています。炭谷委員長さすがだなと思ったのは、果たして分類の意味があるのか？と書かれています。

おっしゃる通り、2019年に職業に関する制限が撤廃されました。今までは1業種1人でしたがそれがここに書かれているように5名までは同業者良いです。

51名以上のクラブに関しては10%までは同じ職業分類の方を入れても良いというのが長らく続いていましたが2019年の規定審議会で撤廃されました。

ですから全員同じ職業でもかまわなくなっています。ただし、職業分類に関してですが2022年の規定審議会に「職業分類表は意味がないではないか」と議案が出されました。それがかなりの差で否決されました。

私の解釈ですが、職業はものすごく大事、そこから始まったロータリークラブ。最後の部分はとどまって職業分類の廃止することは否決するということではないかと解釈しております。

ですから職業の意識、地元の職業を代表する方にそのクラブに入ってもらいたい、ということが継続して承認されたと解釈していただき分類表、未充填を充填するということを会員増強にも役立てて頂ければと思っていますのでよろしくお願いいたします。

エイジングプログラム委員会です。

52クラブ中、川崎大師クラブだけですね。本当にきめ細やかなサービスの一つだと思います。

委員長が書かれておられますように自身のロータリーライフがいかに楽しく、充実しているのか、見える化するお手本が書かれています。

ベテラン、中堅の会員の皆様方が自身のロータリーのご経験やジェニファー・ジョーンズさんストーリーテリングと聞いていましたが、ご自身の経験、ロータリーのいろいろな場面場面を新会員の皆様方にぜひ話をしてください。そういうことがいわれています。

牛山さんの話を聞いていて少し思いましたのですが、私も神奈川RCに入会したのが1997年7月ですがその時に神奈川クラブも70人以上会員がいて、私のような建材屋は、銀行の支店長の関係で入り、ロータリーのこともわからずにはいりましたが、まるで歓迎されませんでした。

その他大勢のような感じで、親睦で受付をやり挨拶しても知らん顔をして通り過ぎられたり、「なんだこの団体は？」と、くすぶったりした時期もありましたが、今では冗談半分で言っていますが、私は歓迎会をされていません。24年間ずっと恨んでいるつもりはないですが、うちのクラブも変わりましたが当時はそういった時代だったのではないかと思います。

同期の入会者などと、横浜にお寿司屋さんを営んでいる神奈川クラブの方がいらしたので、そこにいっては同年代の人と愚痴ったりしたことも思い出しました。そこでロータリーモメントの話になります。

半年ぐらいたったときに神奈川クラブの重鎮で今は名誉会員ですが鈴木邦之さんという方がおられまして、市場のドンのような方ですが、その方がこのような話をされました。

「ロータリアンは皆公平なんだ。社会的地位とか会社の大小は全く関係ないので、ぜんぜん気をつかう事もないし、自分の事も鈴木さんではなく邦之さんといってもらった方が心地いいのだよね。そういうつもりでロータリーの例会に来ているので、あまり気を使われると居心地がわるいので皆普通に邦之さんと呼んでください。」

という言葉聞いたときに私はロータリーはそういうところで良いのだと、肩の力が抜けたと同時に、自分が挨拶をしても無視する人に対しても寛大な気持ちになれた、そういう人もいるんだなと思いきなりました。

是非、そういった経験を新会員の皆様方にしていただけたらと思います。気付きがものすごく多いのではないかなと思います。お願いしたいと思います。

ファイヤーサイドミーティングも私は大好きです。ぜひ盛り上げてやっていただきたいと思います。

プログラムの平位委員長。委員長がおっしゃる通りプログラムはものすごく大事です。

例会の卓話というものは、会長方針に則り「地域に寄り添う」がキーワードとおっしゃっていましたが、今年度のプログラムは、ほぼ埋まっていると平位委員長からお聞きしていますが、さすがだなと思います。そしてその内容次第では出席率の向上につながります。この人の卓話ならききたいということで例会場に足を運ぶのではないかと思います。

そして次週は臨港警察署の署長ということで私は20年くらい前のいやな過去がよみがえってまいりました。臨港警察の前で車線変更をしたらつかまってしまいました。苦い過去もありました。

雑誌広報委員会 宮崎委員長。ロータリーの友ですよ。会長がおっしゃっていましたが、月初にロータリーの友の精読をしてくださっている。非常にありがたい、感謝

いたします。

そういったクラブはなかなか少なくなってきました。ロータリーの友、購読の義務は3大義務の一つといわれていて非常に大事なものです。引き続きそれは徹底してやっていただきたいと思います。

あとは事務局の竹下さんが、掲示板にWeb版を使ってくださいと貼って下さっていますよね。非常にありがたいことで、地区の連絡をあそこの掲示板に貼っていただき、右上の所にロータリーの友Web版を活用してくださいと貼ってありました。

これはロータリーの友事務所から半年に1回請求書が送られて来るときにパスワードが書いてあるんです。パスワードを入れて頂くとスマホでロータリーの友がいつでもどこでも見られます。

私が一番使っているのはアーカイブです。1953年1月のロータリーの友創刊号から見られるんです。すべてデータが入っているので、非常にありがたい、ご活用していただきたい。大師クラブさんが出来たときのロータリーの友とか全部出てきます。

掲示板に貼ってありましたので、そのパスワードを入れるだけでどこでも購読できますのでよろしくお願ひします。ありがとうございます。

クラブ管理運営委員会八尋さんです。担当する委員会が本当に多くて大変ですが各担当委員会委員長と三役との意見が合わなかったりするという事もあると思います。そのパイプ役としてお骨折りいただくことは多々あると思います。重要な委員会、委員長ですのでどうぞよろしくお願ひします。

◎職業奉仕委員会計画 矢野清久会員
(代読 八尋匡彦副会長) P38

◎国際奉仕委員会計画
・ロータリー財団委員会計画 石渡勝朗会員 P39
・米山奨学事業委員会計画 牛山裕子会員 P40
・姉妹クラブ委員会計画 沼田直輝会員
(代読 布川 浩会員) P40
・国際奉仕委員会計画 小林勇次会員
(代読 布川 浩会員) P38

◎青少年奉仕委員会計画 須山文夫会員

◎親睦活動委員会計画
・フォローアップ委員会計画 竹中裕彦会員 P35
・同好会委員会計画 船木幸雄会員
(代読 竹中裕彦会員) P35
・親睦活動委員会計画 横山俊夫会員 P34

◎未来計画推進委員会計画 炭谷博功会員
(代読 牛山裕子会員) P41

樋口 明ガバナー :

皆様、発表をしていただきありがとうございました。

職業奉仕 八尋副会長から代読で発表していただきました。

職業奉仕ですが、1月は職業奉仕月間があります。情報提供ですが、職業奉仕に関して職業卓話を横浜ロータリークラブの会員(現在会員数は190名位です)の半分以上が日本を代表する企業の支店長、取締役という方がそろっています。ぜひ長年続いてきた企業にはしっかりと企業理念や社訓がありCSRやCSVが常識になっていますが、それを通してステークホルダーの関係、対応をしっかりとやってきて長年企業が存続して続いているという話を、ぜひ横浜RCの会員をこちらに呼んでいただいて、その企業について話をさせていただく。多少企業のPRになるかもしれませんが、それがなぜ職業卓話になるかというと、わかりにくいといわれている職業奉仕に関する良い実例だと思います。

平位さんの方で卓話がいっぱいだとだめですが、もし空いているようでしたら。横浜ロータリークラブだけ特別なクラブではありませんので、全然遠慮せずに北條ガバナー補佐にオファーをしていただければ、今年度の第6グループのガバナー補佐は水品さんといって横浜RCの方なので、すぐに話を通して派遣するよという話がありますのでご興味があればどんどん使っていただければと思います。

ロータリー財団委員会 石渡委員長、本当にきめ細やかな活動計画を拝読させて頂きありがとうございました。おっしゃる通りでございます。

1点、財団のプログラム②の財団寄付の流れですが、配分のところが2年前にロータリー財団本部が5%の管理費を取るようになりました。

配分が50%から47.5%ずつになりました。国際的な財団活動のための資金が47.5%、地区の財団活動のための資金が47.5%となります。ここだけご訂正いただきたいと思います。

本当に委員長がおっしゃっていた通り、概念的な流れ、財団セミナーで話をします。我々の寄付は3年後にシェアシステムで47.5%戻ってきてと頭の中ではわかっているのですが、実際の数字を出して説明をした方がより理解が深まるのではないかと思います。私は今年度ロータリー財団委員会にそれを説明しました。ぜひすべて実数、いくらうちの地区は寄付をして、どうなっていくことを実数をまとめてくださいますようお願いしています。

今年度使わせて頂いている皆様からのご浄財は3年前の吉田ガバナー年度の時に年次基金寄付をしていただき、3年経って47.5%今年度に戻ってきて、それプラス恒久基金が利益の何%となるのですが、言葉で説明するのではなく実際に吉田ガバナー年度の時にいくら寄付をいただいたのか、その47.5%が実際にはいくらなのかという金額を明確に指し示して財団セミナーやそういうところで皆様にご説明するようにと指示しております。

そうしていただければ理解が深まるのではないかなと思っていますので、それを楽しみにしていただき、理解していただき、財団へ寄付のご理解をいただきたいと思っております。よろしくお祈りします。

米山奨学事業委員会 牛山委員長、ありがとうございます。

牛山さんは米山のエキスパートですので何も申し上げることはないのですが、委員長がおっしゃられた通り、この米山の奨学プログラムですが1952年から始まり制度的にいろいろ検証する時期にきているというのは、私どももそのように思っています。そのうえで1点だけ説明させていただきますと毎年皆様をお願いしている寄付の目標ですが、普通寄付が5,000円、特別寄付が20,000円という目標額を設定させて頂いています。

普通寄付の5,000円は米山記念奨学会の財団法人を維持するための基盤となるものに5,000円。特別寄付の20,000円は日本で34地区ありますが、寄付額の設定が一番高いくらいですかね。よく言われるのは、当地区は20何年間一人当たりの寄付額がずっとNo.1を継続しています。

皆様方から、「なぜそんなに寄付競争に協力しなければいけないのか」「1位になるために寄付の目標金額を高くしてわれわれは払わされている」ということも言われていますが、そういった事ではなくて、米山奨学生、いま成さんを預かっていただいています。その地区、地区に何名派遣するかというときの算出根拠になるんです。それは地区としてトータルの米山の寄付額として一人当たりの寄付額、比率でいうとトータル50%占めています。一人当たりの寄付額が30%を占めています。

ご存じの通り当地区はロータリアンの会員数1850人程度、東京の4700人、愛知4800人など到底かないません。そこで一人当たりの寄付額を高め設定して一人でも多くの米山奨学生をお預かりするということになります。一人でも多くの米山奨学生をとということには理由があります。横浜、川崎は大学数がものすごく多いです。ということは、留学生もものすごく多いです。北海道や秋田やそちらに比べると比べものにならないくらい多いです。

大学と留学生が多いということで、米山の趣旨である将来母国と日本の懸け橋となり平和を推進してもらう人、優秀な生徒を育てることがあります。

当地区では、1人当たりの寄付額を少しでも多く設定し、一人でも多くの優秀な自費留学の学生をお預かりして、将来羽ばたいて世界平和のために貢献していただきたいという願いが、30年くらい前の中山ガバナーとか鈴木ガバナーとか「うちの地区はそれで行くのだぞ」という強い信念がずっと受け継がれてきて20,000円という額の寄付をお願いしていることを、是非再度ご理解いただきたいと思っております。

今年度米山奨学生を通して米山奨学金の理解を深めて頂きたいと言う事で、奨学生をガイド役としてぜひ大学のキャンパスツアーをしてくださいというお願いをしています。

新会員の皆様方ですが「米山奨学金プログラムはなんだ？」ご存じない方も多いと思いますので、できれば成さん、慶應ですね。スケジュールがあれば慶応大学に皆さん一緒に行っていて担当教諭と話をしていただいたりとかランチしていただいたりとかをしていただければ、米山のプログラムへの理解が深まるのではないかなと思っていますので、よろしくお祈りします。

姉妹クラブ委員会と国際奉仕委員会ですね。

姉妹クラブ、冒頭に話をさせていただきましたが、オペラの方、とても素晴らしかったですね。韓国の方ですね。引き続き関係を続けて頂ければと思います。

国際奉仕ですが1点だけ、これは北條ガバナー補佐の範疇になりますが、今年度5月にシンガポールで国際大会が開かれます。

ご案内をした通りでございますが、今年度初めて地区でツアーを企画いたしました。かなり割安になっています。限定100名早い者勝ちです。ぜひ皆様と一緒に来年の5月末ですが一緒に。

この前の5月末は牛山さんとメルボルン一緒させていただきましたが、来年はシンガポールで皆さまと一緒に地区ナイトを楽しみたいと思います。ぜひよろしくお祈りします。

青少年奉仕委員会 須山委員長ありがとうございます。ローターアクトにお任せしようということで、自分たちで考え、そういうチャンスを与えようということで過保護にならないように見守っていこうという話をさせていただきました。今がそのタイミングであると。私は全く同感です。是非そうしていただきたいと思っています。

そしてまた今年度ですが、これに関連して2019年から規約上はロータリーとアクトクラブが対等ということになっており、川崎大師ローターアクトクラブの中村憲孝さん、先ほど紹介していただきましたが、中村憲孝さんを地区の委員会の公共イメージ委員になっていただきました。当地区では初です。

対等ということもありますが、ローターアクターがロータリアンの委員会に入っていていただき、ローターアクトはどういうものかというのをロータリアンの人たちも知っていただきたい。

中村さんはじめローターアクターもロータリアンの皆様と委員会で一緒に活動することによってロータリーの事も深く知っていただきたいという趣旨があります。地区の委員になっていただきました。

中村さんには私のホームページにガバナーメッセージ、時々動画も配信していますが、しっかりと撮影していただき大変お世話になっています。ローターアクターの方々のスキルはものすごく高いです。

距離を縮めて理解を深めていこうと思っています。須山委員長、どうぞよろしくお祈りします。

フォローアップ委員会の竹中さん、素晴らしい趣旨、活動であると思っております。本当に大事なことなんです。1時間研修、1時間フォローアップ。1時間ですまないか

と思いますが、非常に大事なことだと思います。もう1点入会3年未満の方を対象とした方、地区でも研修を開きます。

合宿研修です。3月1日～2日 ローズホテルで1泊2日で地獄の特訓を行います。冗談です。

クラブの垣根を超えた、同期の新会員の皆様方にお集まりいただきまして、RLIを取り入れ研修をやり、その日の夜に大懇親会をやる。

みんな友達になりましょうという企画をしております。ぜひ川崎大師クラブの皆様方新会員の皆様方にもご参加いただきたいと思っております。

研修に関わる事ですが、研修という言葉が今年度になりRIの国際ロータリーからトレーニング、トレーニングは上から目線の教育なので、参加者全員が主役であり、皆さんの考え方を取り入れるということで、ラーニングという言葉で統一するように説きました。

すぐに名称を変えてくださいとか、そんな無茶なことはいりません。このまま研修委員会のままでいいです。地区にも研修委員会がありますが、今年度はそのまま地区研修委員会のままにします。そういった通達がありましたのでこれからロータリーの友、マイロータリーで研修という言葉が一切でなくなってくると思います。ラーニングという言葉があふれてくると思いますが、それに伴い次年度は地区もおそらく地区ラーニング委員会になると思います。クラブの裁量でお決め頂ければいいとおもいますが、川崎大師ロータリークラブさんもラーニング委員会となるのかな。

竹中さん、同好会ありがとうございます。ぜひエースとしてやってください。野球も盛り上げていきましょうよ。ぜひよろしく願います。

横山さん、親睦活動委員會有難うございます。1つになればできないことはない。非常にポイントを絞ってわかりやすいですよ。

やるべきことが5つの項目に書かれていて素晴らしいご説明を拝聴させて頂きました。お互いを知ることがクラブの活性化につながるとおっしゃっていましたが、知れば知るほど仲良くなり、知り合いから友人になっていくと思っています。さらにこれをとことん突き詰めて仲よくなっていただき盛り上げていただきたいと思っています。バーベキューとカラオケもやられるということで、私は残念ながらカラオケが歌えません。バーベキュー大好きですので、その時にお声をかけていただければ参加させて頂きたいと思っております。宜しくお願いします。

最後になってしまいましたが、未来計画推進委員会です。牛山さんありがとうございます。会長をやってもすぐに委員長になり、のんびりはできないですね。

今年度は増強に絞ったものという方針があります。これは今年度だけでなくずっと引き続き増強がメインでやっっていくということですよ。

60名が目標ということですので、当然会員増強委員長の長谷川委員長と一緒にやって行くのでしょし、増強というのは、会員増強委員会あるいは未来計画推進委員会だけがやればいいということではありません。いかに4名の川崎大師クラブさん全員が仲間を増やしたいという気持ちになっていただくかということのを盛り上げていく。そういった委員会としての責任もあるのかなと思っています。

星野祐治会長：

長時間にわたり皆様のご協力をおもて只今をおもてまして第3回クラブ協議会を閉会したいと思います。

樋口ガバナーにおきましては長時間にわたりありがとうございました。またお待ちしておりますので、いつでも来ていただければと思っています。

本日皆様長時間にわたり長らくおつかれさまでした。これで閉会いたします。

